

# つばさ

令和5年12月23日発行  
富山県立となみ総合支援学校  
進路支援部

本校では、計画的に進路学習を進めています。今回は、「進路研修会」「仕事見学会」「先輩と語ろう」「後期就業体験」の様子について紹介します。

## 進路研修会「先輩保護者に聞く」 8月25日(金)

進路研修会「先輩保護者に聞く」では、本校卒業生保護者、相談支援員の方の話を実際に聞く中で、進路先の選び方や進路決定に至る経緯、将来の社会生活に必要な力や自立に向けて在学中に身に付けたい力についての情報を得ることで、保護者の方が卒業後の生活や進路先について考える機会となりました。

### 「先輩保護者へのQ&A」

令和2年度卒業生保護者 今村 三咲 氏・吉田 優子 氏  
(卒業生 就労継続支援A型・B型 利用)



### 「先輩保護者へのQ&A」

#### Q進路決定についていつから考えたか

- ・高2の就業体験で2か所を体験したが本人に合わなかった。そこから本格的に考えた。
- ・中3で転校してきて、施設見学会に参加してから考え始めた。

#### Q進路決定の際に大切にしていたことは何か

- ・仕事内容が本人に合っているかと、スタッフの方の印象。
- ・一番は本人の意思。悩んだことは通勤距離と送迎時間。

#### Q将来のために家庭で取り組んでいたことは何か

- ・自室の掃除をすること。今では平日にリビングの掃除もしてくれる。感謝を伝えるととてもうれしそうにしている。
- ・一人でできることを増やすために、洗濯機や電子レンジなどの家電のスイッチにシールを貼って操作の仕方を覚えられるようにした。

#### Qどうやって通勤していますか？思わぬトラブルはありましたか？対処法は？

- ・砺波駅までは車で送り、そこから事業所の送迎車に乗せてもらって通勤している。
- ・徒歩通勤だが、道を覚えることが苦手な特性なので、覚えるまで数か月親が同行して歩いた。一人で歩けるようになっても、大雪や道路工事で風景が変わったり迂回が必要になると分からなくなるので、その時も本人と歩くようにした。

#### Q学校の学習の中で、今の生活に生かされていると思うことはあるか？

- ・学校での調理実習。料理をすることに興味をもち、今は土日に昼食を一緒に作っている。
- ・挨拶をすること。ノートにメモをとること。

#### Q今、振り返って、在学中に身に付けておけばよい習慣や、力をつけておけばよいことは？

- ・大きな声で挨拶、返事をする。
- ・買い物の時のお金の取り扱いを身に付けさせればよかった。



本人を中心に、  
家族で話し合っ  
て進路決定をさ  
れたことをお話  
していただきました





センターでは、障害のある方や家族の方、支援者からの幅広い相談支援をされています。今回の講演では、障害福祉サービスの種類や利用の仕方、障害基礎年金について、砺波圏域内の実情、在学中に取り組んでおくということなどをお話していただきました。



## 在学中にできること、取り組んでおくこと良いこと

( 当日の資料より抜粋 )

### いろいろな経験・体験をすること

- ⌊ 知的に障害のあるお子さんや、施設で長くすごされているお子さんの場合、定型発達のお子さんよりも、経験や体験する機会が圧倒的に少ないと言われています。
- ⌊ いろいろな経験・体験を通して、たくさん選択肢があることを知ってもらいましょう。

### 自己選択・自己決定・自己責任を尊重する

- ⌊ たくさんある選択肢の中から、選び、実行すること、それがどのような結果になったのか?を学校やご家庭で振り返ってみましょう。

### マイナスをどうリカバリーするか

- ⌊ 自己選択した結果、失敗することもあると思います。失敗も大切な経験です。失敗したことで、全てが終わってしまうわけではなく、失敗をどのようにプラスにする(今後に活かす)か?がとても重要なのです。
- ⌊ 結果を評価するのではなく、挑戦したことやできたところを見つけて、たくさん褒めて評価しましょう。

### 自らシグナルを発信しやすい方法を探す(手段は問いません)

- ⌊ 1~10、全てを完璧にする必要はありません。困ったときやどうしたらいいのかわからないことがあったときに保護者や身近な支援者へ「困ってます!」と発信できることが大切です。

### さまざまな社会資源について情報収集する ※必要に応じてお子さん(生徒さん)へ情報提供をしましょう

#### ⌊ 居場所や趣味の充実など、ストレスを発散できる方法を探す

学校を卒業されたお子さんたちにとって、ストレスを発散させたり、リフレッシュする機会をもつことは、社会生活を豊かにするうえで必要不可欠です。

フォーマル・インフォーマルを問わず、お子さんが楽しめる・興味がありそうな活動や場について、地域の資源について探ってみましょう。

#### ⌊ 障害(基礎)年金を取得するための準備

20歳を迎えると、障害基礎年金を受給できる場合があります。

障害年金とは、病気やケガにより働けない人、あるいは働くことに制限がある人を対象に支給されます。

すべて税金で賄われていることから、申請や審査の基準も厳しく、準備にとっても時間がかかります。

※障害年金を申請するにあたり、原則として、初診日から1年6か月経たないと申請できません。

加えて、石の診断書が必要となりますので、在学中から診断書を作成可能な医療機関に繋がっておくと、いざ申請したいとなったときに、手続きがスムーズに進むことが多いです。

参考資料:「障害年金制度について」(日本年金機構より)

### 「砺波圏域障害者基幹相談支援センター」とは

砺波圏域障害者基幹相談支援センターでは、年齢や障害種別を問わず、障害のある方の生活全般にわたる相談支援や情報提供を行っています。障害に関してどこに相談していいかわからない時は、当センターにご相談ください。

住 所 : 富山県砺波市幸町1-7 (富山県砺波総合庁舎内1階)

相談時間 : 月~金 9:00 ~ 17:00

連絡先 : 0763-33-6252 / 0763-33-6275

職員体制 : センター長 / 相談支援専門員 2名 / 保健師

運営主体 : 社会福祉法人 溪明会 (3市から委託)



進路学習の一環として「先輩と語ろう」を実施しました。社会で働く本校卒業生と事業所の方を学校にお招きし、業務内容や仕事のやりがい、休日の過ごし方などについて話を聞きました。生徒たちは、先輩が話す内容をワークシートにメモしたり、事前に考えた質問を発表したりして、先輩方の話を真剣に聞いていました。また、勤労意欲を高めたり、就労や卒業後の生活について理解を深めたりすることができました。

令和3年度卒業生  
Aさん(就労継続支援A型事業所 勤務)

- <仕事内容>  
芳香剤用紙巻き、ビス入れなど
- <頑張っていること>  
ミスのないよう、正確な仕事をする。
- <仕事をしていてよかったこと>  
仕事を頑張れば給料がもらえる。
- <休日の過ごし方>  
テレビや動画を見ること、ゲームをすること



令和3年度卒業生  
Bさん(就労継続支援B型事業所 勤務)

- <仕事内容>  
内職仕事、施設外作業(農業、会場設営)
- <頑張っていること>  
製品に傷をつけないように丁寧に作業すること。
- <仕事をしていてよかったこと>  
仲の良い利用者さんとお話しができるようになったこと。
- <後輩へのアドバイス>  
苦手なことにも積極的にチャレンジしてください。



<生徒の感想>

毎日休まずに通勤することが大切だと思いました。

ミスを出さないよう正確な仕事をしたかったです。

自分も卒業したら先輩として話をしたいと思いました。



小学部による仕事体験の様子

7月・8月実施

小学部6年生5名が地域の福祉事業所で仕事体験を行いました。キャリア教育の一環として、小学部段階で手伝いや働く体験を行い、仕事の達成感や自己有用感を感じることで、働くことの意義を理解し、自分の生き方を変える機会となることと考えています。



「わくわく小矢部」配膳の手伝いや、テーブル拭きをがんばりました。



「つくしの家となみ」ボーリングの手伝いをがんばりました。手伝いができてうれしかったです。



「マーシ園八乙女」てぶくろをたたみました。楽しかったです。



「ぴーすあけぼの」モップ掛けをしたり、利用者さんのいすを並べたりしました。がんばりました。



「大空と大地のポピー村」食器洗いをがんばりました。

特別支援学校の生徒と企業が互いに理解を深め、進路について考える機会とすることを目的とした中小企業家同友会の企画に、1, 2年の希望者4名が参加しました。株式会社アキデザインに行った生徒は、働くうえで大切なことを学んだあとに見学をしました。株式会社松村紙工所に行った生徒は、職場見学の後、実際に仕事を体験しました。参加した生徒からは、メモを一生懸命取ったり、仕事に真剣に取り組んだりする姿が見られました。また、「仕事は大変で疲れました」と感想を述べたり、「ここで働きたいと思いました」と仕事の魅力に気づいたりしていました。



株式会社松村紙工所で仕事を体験しました。

## 後期就業体験 11月6日(月)~11月24日(金)

高等部2、3年生では、地域のたくさんの事業所の協力を得て、「働く力」「生活する力」を高めるために就業体験を実施しました。

後期就業体験では、2年生は、「自分の良さを生かした仕事、自分がやりたい仕事を見付けること、働くための自分の課題を知ること」をねらいとしています。3年生は、「社会人としての心構えをもち、進路決定を目指すこと」をねらいとしています。就業体験の様子を一部紹介します。

アイシン軽金属株式会社



落ち葉掃き

つざわ津田病院



室温チェック、換気

リクシル製作所 小矢部工場



製品のシート掛け

砺波誠友病院



コップ洗い

コマツNTC株式会社



廃棄書類の仕分け

オアシス砺波



テープ貼り

ワンダーランド



車の配線の組立、仕分け

すまいる・きゃりあ



検品

エルハート城端



柿チップの仕分け

福祉作業所 油田



野菜の収穫

つくしの家 といで



利用者さんとのふれあい

マーシ園 木の香



入浴体験